

# 日本共産党

## 磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp  
 川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415  
 吉田容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
 田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446  
 森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
 田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570  
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
 三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

# 沖縄防衛局が選挙介入

衆院予算委  
赤嶺議員が暴露  
職員・親族リスト作成  
宜野湾市長選

「新基地を押し付ける国家権力による選挙への不当な介入だ」  
 日本共産党の赤嶺政賢議員は31日の衆院予算委員会で、米軍普天間基地「移設」問題が大争点になっている沖縄県宜野湾市長選挙(2月12日投票)に関し、防衛省沖縄防衛局が選挙介入していた疑惑を内部告発をもとに明らかにしました。(関連記事)

### 職務中に局長「講話」

赤嶺氏が暴露したのは、沖縄防衛局の総務部総務課人事係が局内各部の庶務担当者あてに送った2通の電子メール。メールには、同局が、選挙権のある職員や親族らのリストを作成し、対象者を集めて真部朗(まなべろつ)局長が「講話」を行っていたことが明記されています。4日付文書は「宜野湾市在任の職員及び宜野湾市に選挙権を有する親族」の調査を依頼。18日付ではその対象者に局長「講話」(23日午後4時、24日午前10時)を「必ず聴講する」よう通知を求めています。指定された時刻は職務中です。

赤嶺氏は、「沖縄防衛局が職権を使って有権者リストをつくらせ局長の『講話』をきくように指示・命令していた」「国家機関の選挙に対する中立・公正の義務、選挙における地位利用の禁止に反することは明らかだ」と追及しました。赤嶺氏はまた、「政府が昨年の仕事納めにやったことが(新基地建設に向けた)環境影響評価書の

提出強行だった。仕事始めにやったことが選挙への介入だ」と指摘。「アメリカの要求に応じて、県民が何を言おうがとにかく基地を押し付けることは許されないと迫りました。」

野田佳彦首相は「とにかく事実確認させてください」と繰り返すだけ。田中直紀防衛相は「至急確認をする。そういう事実があつてはいけない」と答弁。中井洽(ひろし) 予算委員長は「局長『講話』等も含めてきちんと出すように」と求めました。

宜野湾市長選挙は、普天間基地の無条件撤去と新基地建設反対を掲げるイ八洋一・元市長と自公支援候補の一騎打ち。新基地推進勢力は、イ八氏を当選させないことが、新基地反対の県民総意を切り崩せる契機になるとみられています。

同委員会後の理事会では、防衛省の鎌田昭良大臣官房長が説明。「講話」が行われたことは認めました。防衛省職員を沖縄に派遣し、事実関係について調査を開始したことを明らかにし、2月1日朝の理事会で報告すると述べました。

### 負けられぬ選挙

宜野湾市在任の西里喜行さん(71) 琉球大学名誉教授  
 まったくけしからん、到底許せない行為です。しかし、歴史的に見れば、機密費を使うなど権力をかさにきて国が選挙に介入することは、これまでも繰り返してやられてきたことです。

宜野湾市民の一人として、防衛局のやり方を許せないのはもちろんですが、今回のことは市長選挙の持つ別の側面をあぶり出したといえます。国・防衛局にとって、今回の宜野湾市長選は負けられない選挙だということです。

自公候補が勝てば、一点突破で、普天間基地の辺野古「移設」を進めることができる、彼らが考えていることの具体的な表れです。

宜野湾市民の動向いかんで、仲井真知事の状態にも変化が出るかもしれません。それだけに、この選挙は負けられませぬ。

2012年2月1日(水)

## 国保差し押さえ 1.9万世帯 厚労省圧力で年々増加

市町村が運営する国民健康保険(国保)で保険料(税)滞納のために2010年度に差し押さえを受けた世帯が18万7千世帯、差し押さえ総額は732億円にのぼることが分かりました。約9割の市町村で差し押さえが実施されています。厚生労働省が発表(3日)した国保の10年度財政状況(速報値)によるものです。同省は05年に「収納対策緊急プラン」

## 東日本地震・12号台風への救援募金に「協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を引き続きお願いしております。ご協力をお願いします。

【郵便振替口座】

0017017198422

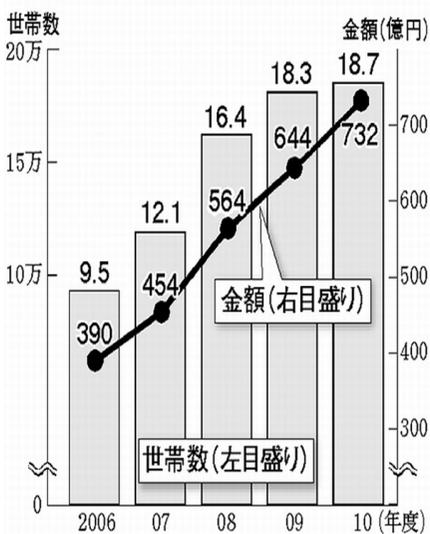
名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願いします。

磯城郡日本共産党議員団

をつくり、市町村に「収納対策の強化」を迫っており、収納率を上げるため学資保険を差し押さえるなど各地で冷酷で強引な取り立てが行われています。

06年度の9万5千世帯、390億円から年々、差し押さえ件数、金額とも増えています。(グラフ)

### 増える国保での差し押さえ



09年度に過去最低を記録した保険料収納率は、10年度は88.60%と0.59ポイント上昇しました。

厚労省は、10年度から保険料減免の対象者を広げたことなどが要因だとしています。

滞納が生じるのは、年間所得200万円の4人家族で年40万円にのぼる例もあるなど国保料が高すぎるためです。滞納世帯(11年6月時点)は前年より21万9千世帯減少して414万5千世帯となり、加入世帯の20.0%(前年同期比0.6ポイント減)となりました。

収納率の上昇にもかかわらず、加入者の所得の減少により保険料(税)収入は前年度比2.1%、644億円の減少。市町村の一般会計からの繰り入れ(法定外)は全国合計で3979億円で、前年度に比べ378億円増えました。

保険料を払いきれず保険証を取り上げられた世帯は、4万世帯減って約155万1千世帯。加入世帯の7.5%(前年比0.1ポイント減)とわずかに改善しました。そのうち、有効期間が短い短期証の世帯が125万5千世帯、窓口でいったん医療費全額を払わなければならぬ資格証明書の世帯が29万6千世帯となっています。

2012年2月5日(日)

